

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 7 月 14 日 (2016.7.14)

【公表番号】特表 2015-523639 (P2015-523639A)
 【公表日】平成 27 年 8 月 13 日 (2015.8.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-051
 【出願番号】特願 2015-514181 (P2015-514181)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 40/04 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 40/04 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 5 月 23 日 (2016.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遠隔装置から、ある量の非標準通貨の注文を予測為替レートで受信することであって、前記注文が、制限期間内に生じる固定日に処理される、受信することと、

プロセッサを介して、前記注文を、マッチングされていない複数の注文とともにデータベース内に記憶することであって、前記注文および前記複数の注文が、競売期限が終了する前に受信され、前記プロセッサおよび前記遠隔装置がネットワーク上で電子通信状態にある、記憶することと、

前記プロセッサを介して、前記競売期限が終了したことを算出することと、

前記プロセッサを介して、前記競売期限が終了したことを前記算出することに反応して、マッチングされていない前記非標準通貨の全ての注文を含む注文集合を発生させることと、

前記プロセッサを介して、より小さい注文集合を発生させるために、選択的照準アルゴリズムを前記注文集合に適用することと、

前記プロセッサを介して、前記注文の全ての可能な組み合わせを算出することであって、各組み合わせが、前記より小さい集合の注文と前記より小さい集合の別の注文との間に少なくとも 1 つのマッチング関係を含む、算出することと、

前記プロセッサを介して、各組み合わせが発生させる取引量を算出することと、

前記プロセッサを介して、前記取引量に基づいて、最も多い取引量を発生させる選択的組み合わせを選択することと、

ディスプレイ上に前記選択的組み合わせが選択されたという表示を表示することと、を含む、方法。

【請求項 2】

プロセッサと、

前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、

ある量の非標準通貨の注文を予測為替レートで受信することであって、前記注文が、制限期間内に生じる固定日に処理される、受信することと、

前記注文を、マッチングされていない複数の注文とともにデータベース内に記憶することとであって、前記注文および前記複数の注文が、競売期限が終了する前に受信される、記憶することと、

前記競売期限が終了したことを算出することと、
前記競売期限が終了したことを算出することに反応して、マッチングされていない前記非標準通貨の全ての注文を含む注文集合を発生させることと、
より小さい注文集合を発生させるために、選択的照準アルゴリズムを前記注文集合に適用することと、前記注文の全ての可能な組み合わせを算出することであって、各組み合わせが、前記より小さい集合の注文と前記より小さい集合の別の注文との間に少なくとも1つのマッチング関係を含む、算出することと、
各組み合わせが発生させる取引量を算出することと、
前記取引量に基づいて、最も多い取引量を発生させる選択的組み合わせを選択することと、
ディスプレイ上に前記選択的組み合わせを表示することと、をするように指示する命令を記憶する、記憶装置と、を含む、装置。

【請求項 3】

前記選択的組み合わせの複数の注文が、共に実行される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記選択的組み合わせ内の前記注文の合計が、ゼロサムバランスをもたらす、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、
前記非標準通貨の交換注文を受信することであって、前記交換注文および前記ある量の非標準通貨の前記注文の合計が、ゼロサムバランスをもたらす、受信すること、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 6】

前記交換注文が、前記制限期間内に生じる固定日を有する、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記注文が、買い注文または売り注文である、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 8】

前記制限期間が、前記ある量の非標準通貨の前記注文を受信するより前に算出される既定の期間である、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 9】

前記制限期間が、前記既定の期間の一部にカスタマイズ可能である、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記制限期間が、複数の期間にカスタマイズ可能である、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 11】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、
第 1 の組み合わせが発生させる前記取引量が、第 2 の組み合わせが発生させる前記取引量に等しいことを算出することと、
前記第 1 の組み合わせが、前記第 2 の組み合わせより多いマッチング関係を含むことを算出することと、
前記第 1 の組み合わせよりも前記第 2 の組み合わせを選択することと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 12】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、プロセッサに、
前記選択的組み合わせが確認されたという表示を受信すること、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 13】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、
前記選択的組み合わせが確認されたという前記表示を受信することに反応して、前記選択的組み合わせの各前記マッチング関係を実行すること、をするように指示する命令をさ

らに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 14】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、前記選択的組み合わせを元に戻すための要求を受信することと、前記元に戻すための要求に反応して、前記選択的組み合わせを取り消すことと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 15】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、マッチングされたがまだ確認はされていない、前記より小さい集合内の前記注文の割合を表示すること、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 16】

前記固定日が将来に生じる、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 17】

前記ある量の非標準通貨が受渡日に渡され、前記受渡日が前記固定日の後に生じる、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 18】

前記予測為替レートが、取引曲線によって算出され、前記取引曲線が、ブローカーによって前記ある量の非標準通貨の前記注文を受信するより前に発生させられる、前記請求項 2 に記載の装置。

【請求項 19】

前記取引曲線が、前記非標準通貨の複数の予測為替レートの補間を含む、請求項 18 に記載の装置。

【請求項 20】

前記取引曲線が、少なくとも 1 つの取引モデルによって発生させられる、請求項 18 に記載の装置。

【請求項 21】

前記少なくとも 1 つの取引モデルが発生させる前記取引曲線が、異なる取引モデルが発生させる取引曲線とは異なる、請求項 20 に記載の装置。

【請求項 22】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、プロセッサに、
前記取引曲線を閲覧するための要求を受信することと、
前記要求に反応して、前記取引曲線の図形描写を発生させることと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 18 に記載の装置。

【請求項 23】

前記選択的照準アルゴリズムの適用が、
少なくとも 1 つの静的マッチング不可能な注文を前記注文集合から除去すること、をさらに含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 24】

前記少なくとも 1 つの静的マッチング不可能な注文が、可能なマッチングを有さない、請求項 23 に記載の装置。

【請求項 25】

前記少なくとも 1 つの静的マッチング不可能な注文が、対応する交換注文を有さない任意の注文を含む、請求項 23 に記載の装置。

【請求項 26】

前記少なくとも 1 つの静的マッチング不可能な注文が、最低必要条件より低い量の前記非標準通貨を要求する、請求項 23 に記載の装置。

【請求項 27】

前記選択的照準アルゴリズムの適用が、
少なくとも 1 つの動的マッチング不可能な注文を前記注文集合から除去すること、をさらに含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 28】

前記少なくとも 1 つの動的マッチング不可能な注文が、前記制限期間外にある固定日を含む、請求項 27 に記載の装置。

【請求項 29】

前記少なくとも 1 つの動的マッチング不可能な注文が、信用限度を超える量を含む、請求項 27 に記載の装置。

【請求項 30】

前記少なくとも 1 つの動的マッチング不可能な注文を実行することが、信用限度を超えるであろう、請求項 27 に記載の装置。

【請求項 31】

前記ある量の非標準通貨の前記注文が、参加者によって送信され、前記方法が、前記参加者と別の参加者との間の少なくとも 1 つの信用限度を受信することであって、前記少なくとも 1 つの信用限度を超えるマッチング注文が、前記注文とマッチングされない、受信すること、をさらに含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 32】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、プロセッサに、前記少なくとも 1 つの信用限度を閲覧するための要求を受信することと、前記要求に反応して、複数の参加者の間の複数の信用限度を描写するインターフェースを発生させることであって、前記複数の信用限度が、前記少なくとも 1 つの信用限度を含む、発生させることと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 33】

各前記複数の信用限度が、調整可能である、請求項 32 に記載の装置。

【請求項 34】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、プロセッサに、既定の信用限度を各参加者に自動的に割り当てること、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 32 に記載の装置。

【請求項 35】

各参加者に割り当てられる前記既定の信用限度の額が、各参加者の身元に依存する、請求項 32 に記載の装置。

【請求項 36】

各参加者に割り当てられる前記既定の信用限度の額が、各参加者の出生国に依存する、請求項 32 に記載の装置。

【請求項 37】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、プロセッサに、第 1 の参加者が第 1 の出生国の出身であり、第 2 の参加者が第 2 の出生国の出身であることを算出することと、前記第 1 の国が強い経済的安定性を有することを算出することと、前記第 2 の国が弱い経済的安定性を有することを算出することと、前記第 1 の参加者に、前記第 2 の参加者よりも高い既定の信用限度を割り当てることと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 32 に記載の装置。

【請求項 38】

各参加者に割り当てられる前記既定の信用限度の額が、各参加者によって実行されてきた取引量に依存する、請求項 37 に記載の装置。

【請求項 39】

各参加者に割り当てられる前記既定の信用限度の額が、各参加者の取引履歴に依存する、請求項 37 に記載の装置。

【請求項 40】

前記少なくとも 1 つのマッチング関係が、前記より小さい集合の前記注文の一部と前記より小さい集合の別の注文をマッチングすることを含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4 1】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、前記より小さい集合の前記注文の前記部分をマッチングすることから生じる残余を算出することと、前記残余を前記より小さい集合の異なる注文とマッチングすることと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 4 0 に記載の装置。

【請求項 4 2】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、前記ある量の非標準通貨の前記注文を取り消すための要求を受信すること、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4 3】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、前記取り消すための要求が、前記競売期限が終了する前に受信されたことを算出することと、前記ある量の非標準通貨の前記注文を取り消すことと、注文が取り消されたという表示を伝送することと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 4 2 に記載の装置。

【請求項 4 4】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、前記取り消すための要求が、前記競売期限が終了した後に受信されたことを算出することと、注文を取り消すことができないという表示を伝送することと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 4 2 に記載の装置。

【請求項 4 5】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、前記競売期限が終了した後、前記ある量の非標準通貨の複数の注文を受信することであって、前記複数の注文が共に送信される、受信することと、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4 6】

前記複数の注文が、前記競売期限の終了時に自動的に送信される、請求項 4 5 に記載の装置。

【請求項 4 7】

前記複数の注文が、トリガイイベントの検出に反応して送信される、請求項 4 5 に記載の装置。

【請求項 4 8】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、追加の競売時間を追加するための要求を受信すること、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4 9】

前記記憶装置が、前記プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、前記追加の競売時間の表示を伝送すること、をするように指示する命令をさらに記憶する、請求項 4 8 に記載の装置。

【請求項 5 0】

プロセッサによって実行される際、前記プロセッサに、
ある量の非標準通貨の注文を予測為替レートで受信することであって、前記注文が、制限期間内に生じる固定日に処理される、受信することと、
前記注文を、マッチングされていない複数の注文とともにデータベース内に記憶することとであって、前記注文および前記複数の注文が、競売期限が終了する前に受信される、記憶することと、
前記競売期限が終了したことを算出することと、
前記競売期限が終了したことを算出することに反応して、マッチングされていない前記非標準通貨の全ての注文を含む注文集合を発生させることと、
より小さい注文集合を発生させるために、選択的照準アルゴリズムを前記注文集合に適用することと、

前記注文の全ての可能な組み合わせを算出することであって、各組み合わせが、前記より小さい集合の注文と前記より小さい集合の別の注文との間に少なくとも1つのマッチング関係を含む、算出することと、

各組み合わせが発生させる取引量を算出することと、

前記取引量に基づいて、最も多い取引量が発生させる選択的組み合わせを選択することと、ディスプレイ上に前記選択的組み合わせを表示することと、をするように指示する命令を記憶する、非一時的なコンピューター可読媒体を含む、製造品。